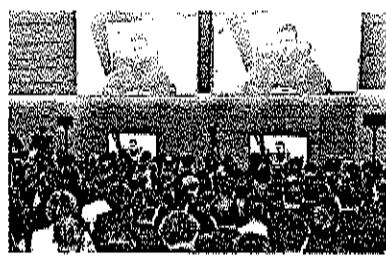


3/24 五 旗



オンラインで国会演説するウクライナのゼレンスキーハーク大統領=23日、衆院第1議会館

核に強い敬意感

処理場を戦場に変えた」と強調。ロシアの装甲車によつて原発周辺の放射性物質を含む土が巻き上がり、「戦争が終わってから環境被覆がどれだけあるか調査するのに何年もかかるだろう」と懸念を示しました。

ロシアからの侵略を受けているウクライナのゼレンスキーハーク大統領は23日、日本の国会に向けオンラインで演説を行いました。同国元首の国会演説は初めてです。

大統領はロシアへの経済制裁を継続するよう要請。さらに、「侵略の津波を止めるためにロシアとの貿易を禁止しなければなりません」ことを禁止しなければならないと訴えました。ロシアは、ロシア軍によるチ

がるとして撤退を促すながらも、さらなる圧力強化を求めるためとロシアとの貿易を止めました。多くの難民が帰還した際の復興支援なども求めました。

アガサリンなどの化学兵器を使つた攻撃も準備していること報告を受けている。核兵器が使用された場合の世界の反応が話題になつてゐる」と述べ、核をはじめ大量破壊兵器の使用に強い警戒を示しました。

↓演説要旨②面

3/24 金 旗

「核兵器 使用され得る」

「ているか」と聞かれて答えました。

【ワシントン=AFP時
事】ロシアのペスクフ大統領報道官米TVに
「ウクライナ侵攻に絡んで核兵器について「國家存続でプーチン大統領は核の選択肢を使わないと「確信してしまった。」と述べました。ロシアが脅かされる場合、ロシアは「われわれの考え方」に従って使用され得る」と述べました。ロシアは「國內安全保障の概念があり、公表されている。核兵器を使用する場合の全権をあなたも読める」と説明しました。

3/24 3/夜

ゼレンスキーダント領の演説(要旨)

ウクライナのゼレンスキーダント領が支配された。破壊された。日本は、原子炉の上にあります。核物質の処理場をロシアで行なった演説の要旨は、アが戦場に参入した。ウクライナには現役の原子力発電所は4カ所。すべてこの戦争が終わらない限り、安全を感じる人はいないだろう。

1986年に Chernobyl また公共施設の多くが被災を受け、環境に対する放射能の放出が世界各地域で記録された。蘇先日、学校、工場でアンプイリ原発事故があった。放射能の放出が世界のリスクになっている。多くの人が死んだ。モニアの漏れがあった。機械、資材などが埋められ、サリンなどの化学兵器をもつた。その土を使つた攻撃もロシアが準備していると報告を受けた。そして、放っている。核兵器も使用され、射性物質のダストをまきられた場合の世界の反応は、あがた。 Chernobyl どうかが話題になっている。平和を壊してい

る。

ウクライナは、この大規模な攻撃に対し国を守るためには、ある国家と一緒にしなければならない。アジアで初めて、ロシアに圧力をかけはじめたのが日本だ。その継続をアに殺され、埋葬するこお願いする。ロシアとのときえできない。ロシアが海も封鎖して、通常の航路を封鎖している。しなければいけない。また、復興も考えなければいけない。避難した人々が故郷に戻れるようにならんのよに国際機関が機能しなかった。機関が機能しない。既存の国際機関がそれを可能できるように改革が必要だ。ロシアによって、で、新しいツールをつくらなければいけない。日本がそのため大きな役割を果たせると思う。